



報道関係者各位

バイエル薬品株式会社

参天製薬株式会社

バイエル薬品と参天製薬、「アイリーア[®]硝子体内注射液」に関する 販売提携契約の延長のお知らせ

大阪、2019年12月20日ーバイエル薬品株式会社(本社:大阪市、以下バイエル薬品)と参天製薬株式会社(本社:大阪市、以下参天製薬)は、この度、2012年5月に締結した眼科用 VEGF*阻害剤「アイリーア[®]硝子体内注射液」[一般名:アフリベルセプト(遺伝子組換え)、以下アイリーア[®]]の販売提携に関する契約の延長に合意いたしましたのでお知らせします。この販売提携契約の延長により、これまでと同様に日本国内でのアイリーア[®]の販売は参天製薬が行い、本剤の製造販売承認はバイエル薬品が保有します。本剤の医薬品情報提供活動は両社が共同で実施いたします。

* VEGF=血管内皮増殖因子 (vascular endothelial growth factor)

バイエル薬品 代表取締役社長のハイケ・プリンツは次のように述べています。「参天製薬とのコラボレーションを延長することができ、これからも日本の患者さんにアイリーア[®]の治療ベネフィットを共にお届けできることを大変うれしく思います。7年にわたる両社の提携関係の成功を基盤として、引き続き参天製薬と緊密に連携して最新の学術情報を日本の眼科診療に従事される皆さまに提供し、治療向上に貢献してまいります」

参天製薬 取締役・専務執行役員 日本事業統括兼眼科事業部長の伊藤毅は次のように述べています。「参天製薬はこれまでの販売提携契約に基づき、いまだ日本において主な失明原因の上位として位置付けられる加齢黄斑変性を中心とした網膜疾患の未充足な治療ニーズの解消に、バイエル薬品と協働してまいりました。今後もアイリーア[®]を患者さんの元に届けることで、患者さんの生活の質の向上に、より一層貢献できることを期待しています」

なお、参天製薬社のアイリーア[®]の2019年3月期売上収益は、56,157百万円です。本契約に伴う参天製薬社の当期業績予想の修正は、予定しておりません。

アイリーア®(アフリベルセプト)硝子体内注射液について

アイリーア®は、ヒト VEGF 受容体-1 と受容体-2 の細胞外ドメインの一部をヒト IgG1 の Fcドメインと融合させた遺伝子組換え融合糖タンパク質で、アフリベルセプト硝子体内注射液は硝子体内への投与が可能となるよう等張化された注射液として開発されました。アイリーア®は、可溶性のデコイ(おとりの)受容体として VEGF の一種である VEGF-A と胎盤成長因子(PGF:placental growth factor)に結合することにより、本来の VEGF 受容体への結合および活性化を阻害することができます。

日本におけるアイリーア®の製造販売元はバイエル薬品、発売元は参天製薬です。すでに日本において、中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性(wet AMD:wet age-related macular degeneration)、網膜静脈閉塞症(RVO:retinal vein occlusion)に伴う黄斑浮腫、病的近視における脈絡膜新生血管(mCNV:myopic choroidal neovascularization)および糖尿病黄斑浮腫(DME:diabetic macular edema)の適応で承認を取得しています。また本年7月に、血管新生緑内障(NVG: neovascular glaucoma)を効能・効果として承認の申請をしています。

バイエル社とリジェネロン社は、アイリーア®の国際共同開発を行っています。リジェネロン社はアイリーア®の米国内での独占販売権を保有しています。バイエル社は米国以外での独占販売権を有します。

バイエルについて

バイエルは、ヘルスケアと食糧関連のライフサイエンス領域を中核事業とするグローバル企業です。その製品とサービスを通じて、世界人口の増加と高齢化によって生じる重要課題克服への取り組みをサポートすることで、人々の生活に貢献しています。同時に、収益力を高め、技術革新と成長を通して企業価値を創造することも目指しています。また、バイエルは、持続可能な発展に尽力し、バイエルブランドは、世界各国で信用と信頼性および品質の証となっています。グループ全体の売上高は 396 億ユーロ、従業員数は 117,000 名(2018 年)。設備投資額は 26 億ユーロ、研究開発費は 52 億ユーロです。詳細は www.bayer.com をご参照ください。

バイエル薬品株式会社について

バイエル薬品株式会社は本社を大阪に置き、医療用医薬品、コンシューマーヘルス、動物用医薬品の各事業からなるヘルスケア企業です。医療用医薬品部門では、循環器領域、腫瘍・血液領域、ウィメンズヘルスケア領域、眼科領域、画像診断領域に注力しています。コンシューマーヘルス部門では解熱鎮痛薬「バイエルアスピリン」をはじめ、アレルギー性疾患治療剤や皮膚科領域に注力しています。動物用医薬品事業部は、動物用医薬品の提供を中心にコンパニオンアニマルおよび畜産動物のヘルスケアに貢献しています。同社は、技術革新と革新的な製品によって、日本の患者さんの「満たされない願い」に応える先進医薬品企業を目指しています。詳細は www.byl.bayer.co.jp/ をご参照ください。

参天製薬株式会社について

参天製薬は、眼科に特化したスペシャリティ・カンパニーとして、医療用・一般用の医薬品や、医療機器の研究、開発、販売・マーケティング活動を行っています。世界約 60 を超える国・地域で製品を販売しており、国内の医療用眼科薬市場においては No.1 のシェアを有しています。130 年近くの歴史の中で培われた科学的知見や企業力を活かし、今後も、価値ある製品・サービスの提供を通じ、患者さんや患者さんを愛する人たちを中心として、社会への貢献を果たしてまいります。詳細については、当社ホームページ www.santen.co.jp をご参照ください。

リジェネロン ファーマシューティカル社について

Regeneron (NASDAQ: REGN) is a leading biotechnology company that invents life-transforming medicines for people with serious diseases. Founded and led for 30 years by physician-scientists, our unique ability to repeatedly and consistently translate science into medicine has led to seven FDA-approved treatments and numerous product candidates in development, all of which were homegrown in our laboratories. Our medicines and pipeline are designed to help patients with eye diseases, allergic and inflammatory diseases, cancer, cardiovascular and metabolic diseases, infectious diseases, pain and rare diseases.

For additional information about the company, please visit www.regeneron.com or follow @Regeneron on Twitter.

※本資料は、国内の報道関係者の方々を対象に、バイエル薬品の企業活動に関する情報を提供しています。一般の方に対する情報提供を目的としたものではありませんのでご了承ください。

バイエルの将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements)

このニュースリリースには、バイエルグループもしくは各事業グループの経営陣による現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements) が含まれています。さまざまな既知・未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。これらの要因には、当社の Web サイト上 (www.bayer.com) に公開されている報告書に説明されているものが含まれます。当社は、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負いません。

参天製薬の将来見通しに関する注意事項 (Forward-Looking Statements)

このプレスリリースにおいて提供される情報は、いわゆる「見通し情報」(“Forward Looking Statements”)が含まれています。これらの見通しの実現できるかどうかはさまざまなリスクや不確実性に左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。また、日本ならびにその他各国政府による医療制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。